にわざわざ訪問され、 御研究所の小生の研究室

「君の仕事は素晴らし

を変えようと思うもの

道の開拓はまだ終わって は、自ら動くべし。北海 た。戸田会長は「世の中

べられ、激励してくれ

想を世界に発信するため 指したイムノリゾート構 体内環境の正常化を目

ればいけない。しかし、 のある取り組みをしなけ には、よほどインパクト

免疫学者である私には、 今でも信じ続けてきてい 海道の活性化に繋がると 信があったし、それが北 なりのインパクトをもっ て世の中に発信させる自 「免疫保養地構想」をか

亡き、戸田一夫元道経連 会長であった。北大、札 してくれた人物は、今は その思いを初めて理解

光 北 海 道

観 医大、旭医大を中心とす

半分もいる。少子高齢化 力が完成できない子供が どの生活環境の変化によ 抵抗力の弱い子供が増加 境、特に免疫バランスが 壊と共に今、ヒト体内環 究者ネットワークに誘わ る次世代ポストゲノム研 生になるまでに免疫抵抗 破綻し始め、その現れと 己紹介の中で、「環境破 って、生まれてから小学 してきている。食生活な してアレルギー体質で、 小生が2~3分の自 IMMUNO RESORT

日、戸田会長は黒塗り 北大遺伝子病制 Ļ 61 というコメントを述 子育て問題にも重要 北海道のためになる

う内容を述べたところ、 代が大問題になる」とい 問題に加えて、虚弱化時

の車で、

北海道の「健康を考える観光」拠点づくりを目指したイム -思いを持った人の輪が新しい北海道観光を創造す

西村 孝司

の活性化にも繋げる」と 生を一研究成果を北海道 研究者の一人だっただけ 上の喜びと感じる普通の を発表することのみを至 すれば、一流雑誌に論文 熱い、偉い方であった。 りに自ら行動されていた はいない」等と良くおっ る契機になったことは確 に、戸田会長の激励は小 ではない。しかし、とも にと考えていなかった訳 の研究を北海道の活性化 産子として、勿論、自分 しゃっていたが、その通 いう思いを一層かき立て 不古内町札苅出身の道

題と北海道活性化を結び アレルギー人口の増加問 みで年々増え続けている 綻によって、先進国での とする免疫バランスの破 に全くなかった訳ではな に繋げる糸口が小生の中 つけることである。 免疫を北海道の活性化 。それは、小生が専門 前にできあがっていた。 化や地域再生にも繋がっ は小生の頭の中でかなり にも匹敵するイムノリゾ た「21世紀の北海道開拓 て行くであろうと考えて しかし、そのシナリオは ート構想展開のシナリオ

共に実施してきている花 はとてつもないストレス 以上いると言われる人々 ば、全国に2000万人 期に北海道観光に訪れれ 上士幌町の竹中貢町長と から解放されるはずであ てスギが殆ど生息しな 北海道には道南を除い 従って、花粉症の時 承知している。このよう な構想であることは十分 もらえない、実現が困難 を考えることには長け、 机上の夢で、「夢が実現 の話を戸田会長の薦めで 性やイムノリゾート構想 な健康バイオ産業の重要 れた人々」には理解して 夢を追いかけることを忘 できないというロジック

ると知った瞬間である。 ーにも結びつき、北海道 となる。2~4月にしか との差別化ができる北海 北海道と沖縄、奄美大鳥 の健康バイオ産業の活性 るイムノヒーリングツア 的な北海道観光になり得 て、そのインフラは通年 を構築できれば、やが 的に結びつけた社会基盤 開ツアーを契機に、 道のユニークな取り組み も準備しなくとも他地域 したくてもできない、何 のみであり、他都府県で 日本でスギがないのは、 道の活性化にも還元でき として自分の能力を北海 いた時であり、免疫学者 粉症疎開ツアーを思いつ 実施できないスギ花粉疎 「観光」、「医療」を横断 発想だね」と言ってくれ だ」とおしゃって下さっ れでいい、北海道の将来 道経連理事会でお話しさ り会えている。 の協力のもとで行うこと リゾート構想実現へ向け ある学問と共に、イムノ 直前会長であった。 た人は、北洋銀行武井正 せていただいた時に「こ ができるという幸せに巡 いをもった」多くの方々 ての行動を異分野の「思 小生は今、学者の本分で ート構想はなかなか良い 3番目に「イムノリゾ このお二人のお陰で、

地域の取組

法は、下川町森林組合の に端を発しました。 トドマツ精油の商品開発 下川町における森林療

のチカラで人を癒す

しもかわ森林療法協議会の取り組

戸田会長がよく口にし

関心を持った奈須氏(現 の森林療法の記事に強い 平成十四年、林業雑誌

②下川町 会会長)が中心となって、 会に自然療法プロジェク 下川産業クラスター研究 NPO法人森の生活代表 ト(自然の力で健康を維 しもかわ森林療法協議

| 長である。

オイル、温泉を利用した|年には産・官・学協働に て議論。森林やトドマツ 持、回復する活動につい ました。

協働による町全体の取り 組みに発展し、平成十七 れた結果、平成十六年度 により調査・研究が行わ には関係機関、団体等の 総勢十一名のメンバー スの測定を行いました。 と体の健康づくり、生活 つのグループを中心に展 グの中で自律神経バラン 林散策を実践として、心 ①地形療法グループ=森 開しています。 月四回の森林ウォーキン 習慣病対策の取り組み。

くれ、その実践の契機を つくってくれたのは、 基本施策として打ち出し 森公人社長と総務省地域 今、夕張再生を請負、イ 小生の提唱するスギ花粉 ーキャピタルの松田一敬 てくれた竹中貢上士幌町 ムノリゾート構想を町の 再生マージャー事業でイ 柱に掲げてくれている加 ムノリゾート構想もその 観光の活性化に賛同して 疎開ツアーによる北海道 偶然、○寿司で出会い、 社長、そして、4番目に 療法を研究)を立ち上げ 長、石森秀三北大教授な 元副知事、坂本JR会 本聖子参議院議員、吉沢 務、 は、日本観光協会中里常 きい。さらに、現在で 専務理事との出会いは大 生検査所協会、赤石清美 SRL経営顧問で日本衛 下さった、大手検査会社 を当初からサポートして 道に」という小生の提言 治験ネットワークを北海 結びつきも重要である イオ産業活性化のための JTB清水常務、橋

たのは、北海道ベンチャ 実現には、検査業界との 「健康を考える観光」の

いる。 POイムノサポートセン 点の構築を目指して、N ツーリズム) の北海道拠 康を考える観光 (ヘルス 科学的根拠に基づいた健 ど多くの人々の助けで、 ターを設立するに至って

▼ミスさっぽろ

近、この活動を通して実 はないかもしれないと最 信念はあながち間違いで 創造する」という小生の た人の輪が新たな未来を 解してくれ、思いを持つ は、思いを持った人が理 「思いを持った人の心

村

飯 塚 森 麻衣さん あかりさん 陽子さん 文 英さん

(札幌地区)

▶ミスツインクル

佳子さん 菜々子さん

景 さん

■北海道観光連盟 札幌市中央区北3条西7丁目1番地 緑苑ビル2階 TEL (011) 231-0941 FAX 232-5064

で感じ、健康 の恵みを全身 下川町の森林 多くの方々に 内外を問わず

づくりに役立ててもらう

取り組みが、着実に浸透

●北海道さっぽろ「食と観光」情報館

しています。

ながりました。 法協議会」の設立につ よる「しもかわ森林療

> ドマツオイル等を利用し ②植物療法グループ=ト

同会は森林を活用し

札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅1階西通り北口 TEL (011) 213-5088 FAX 213-5089

成講座の開催。

以上の活動により、

プ=森林と関わる人材育

⑥森のセラピストグルー

アーの実施。

都市住民の森林・温泉ツ

や森のアロマツアーなど フ=森林養生プログラム ⑤セラピーツアーグルー

■北海道経済部観光のくにづくり推進局 札幌市中央区北3条西6丁目 TEL (011) 231-4111 (代) FAX 232-4120

観光のお問い合わせは

森林散策風景(地形療法=右) 療育グループの実践風景(上)

を目指し動き始めまし

④森林療育グループ=知

的障害者とともに森林体

れています

会員の購読料は会費に含ま

具体的な活動は、

験を実践。

して森林保養地の形成

健康づくりの事業を進 い、町民や都市住民の 法の研究、実践を行 た療法を中心に各種療

森林のまち下川と

験の実践。講習会の実幼児を対象とした森林体

と信じています。

いった時代がやってくる 町といえば森林保養地と 研修を開催。

究。アロマオイルの作成 ロマテラピーの実践研 た病院、福祉施設でのア

元の人材育成と都市との

近い将来、さらなる地

連携の充実により、

③子どもの森グループ=